



フィールドと
つながる
×
絵本
原画展



絵で感動!

草の根 と 落ち葉

フィールドでもっと感動!



会期 **2022 11.3** 文化の日 **木** ▶ **2023 1.15** 日

※会期中休園日: 11月4日(金)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、24日(木)、12月19日(月)、26日(月)、28日(水)~2023年1月4日(水)、1月10日(火)
※会期等は変更になることがあります。詳細はホームページ等でご確認ください。

入園料 **320円** ※高校生以下・65歳以上・障がい者とその介護者1名まで無料

開園時間 **9:00~16:30** ※入園は16時まで

主催 国立科学博物館附属自然教育園

共催 株式会社少年写真新聞社

天然記念物及び史跡
国立科学博物館附属 **自然教育園** 教育管理棟1階展示スペース (港区白金台)

お問い合わせ(自然教育園)
03-3441-7176



自然教育園HP

フィールドと
つながる
×
絵本
原画展

草の根 と 落ち葉

自然を題材とした絵本には、「感動」と「興味」がたくさん詰まっています。絵本を読んだあとにフィールドで本物の自然を見ると感動はさらに深まり、興味は理解へとつながります。

本展では「草の根」と「落ち葉」をテーマにした絵本の原画でひっそりとした晩秋の自然に心を惹きつけます。そして都心に残された貴重な森林緑地＝自然教育園をフィールドとした本物の自然の観察へとつなげます。

絵本が伝える自然の魅力。フィールドだから気づくこと。その相乗効果から、自然の「おもしろさ」と「不思議」をより感じていただけるような工夫を散りばめました。

◆フィールドとつながる絵本◆

『ぼくの自然観察記 草の根のたんけん』



野草が好きでも
普段あまり目にする
ことがない「草の根」。
地上の姿から想像でき
ない、生き抜くための植
物の知恵が、詰まってい
るのに気づきます。



◎おくやま ひさし



カラスウリ



ヤマノイモ



ヨモギ

●絵と文 おくやまひさし●

自ら絵を描き写真を撮り、自然の不思議やおもしろさを、絵本で伝える野遊びの達人！

『落ち葉のふしぎ博物館』



林の中で落ち葉を拾い
集めて歩くと、いろい
ろなことに気づきます。
葉っぱの色や形の違い、
手触り、におい、落ちて
いる木の実、それに落ち
葉の下にいる生きもの
も見逃せません。



◎盛口 満



◎安田 守

●絵と文 盛口満(通称、ゲッチョ先生)●

緻密な絵と軽妙な文、豊富な博物学的知識で自然のおもしろさと奥深さを万人に伝える達人！

●写真 安田守●

長期にわたり、根気強く生きものに向き合って、自然の不思議を丹念に記録する生きもの写真家。

◆自然教育園ってどんなところ？◆



大都市「東京」に残された
貴重な森林緑地



四季折々にさまざまな
生きものを身近に
観察できます



●JR山手線 目黒駅東口・東急目黒線 目黒駅より徒歩9分
●東京メトロ南北線・都営三田線 白台駅1番出口より徒歩7分
東京都港区白台5-21-5